

海洋産ポリ環状エーテル毒の合成研究

○森 裕二
名城大院総合学術

近年魚介類の毒化原因物質の一つとして、渦鞭毛藻が生産するポリ環状エーテル毒が注目を集めている。この海洋毒は、ブレベトキシン、シガトキシン、マイトキシンに代表されるように極めて強力な神経毒性を示すものもあれば、エツトキシンのように下痢毒性やガンビエロール酸のように抗真菌作用を示すものなど、分子構造的には似通った構造であるにもかかわらず多彩な生物活性を示す。本講演では、ポリ環状エーテル海洋毒の合成化学的研究について発表する。基本骨格の新しい構築法、ポリエーテル環変換法、有用合成ユニットの調製等独自に開発した合成手法を用いて、ホタテ貝の下痢毒性成分であるエツトキシンの合成化学について述べる。